

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鎌倉大船有料老人ホーム	階数	地上3F
建設地	鎌倉市大船字谷之前1916番他	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	56人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年11月 予定	評価の実施日	2013年2月26日
敷地面積	2,388 m <sup>2</sup>	作成者	(株)セット設計事務所
建築面積	979 m <sup>2</sup>	確認日	2013年2月26日
延床面積	2,294 m <sup>2</sup>	確認者	(株)セット設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
省エネで環境に配慮し、まちなみに調和し地域に根ざした居住性のよい老人ホームをめざす	近隣周辺への圧迫感をやわらげる緩衝地帯としての植栽(既存樹木の保護)や通路をバランスよく配し、傾斜地に沿った配置、高さとすることで環境だけでなく地域のまちなみ・景観に配慮する
<b>Q1 室内環境</b> 複層ガラスの開閉部や外断熱を設けたり自然採光や換気またシックハウスにも配慮する	<b>Q2 サービス性能</b> 可能なかぎり空間を確保しバリアフリーやスタッフ動線、維持管理また更新にも配慮する
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 植栽を出来る限りバランスよく配置し、通風採光また周辺環境やまちなみ・景観に配慮する	<b>LR1 エネルギー</b> 複層ガラスや外断熱の採用で建物の省エネに努める、またLED照明を積極的に採用する
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水にすぐれた設備機器やリサイクル資材の使用を積極的に採用する	<b>LR3 敷地外環境</b> 現況の傾斜地や既存緑地を出来る限り保全し周辺環境に配慮する

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される